

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>【市民部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>歩行者の安全特に通学路の安全対策を強化するためにゾーン 30 の計画的な導入を促進されたい。ゾーン 30 のできない通学路は速度の出ない道路構造とされたい。</li> </ul> <p>【建設部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大型の山車が運行できるよう信号機や電線のあり方を検討されたい。</li> <li>市営住宅における家賃の適正な納入を促進されたい。市営住宅の保証人制度について住宅困難者が入居できる様、見直しをされたい。</li> </ul>	<p>ゾーン30のできない通学路での速度の出ない道路構造については、毎年実施している通学路の合同点検の中で危険箇所の把握に努め、警察と相談しながら、適切な対策について研究してまいります。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課)</p> <p>大型の山車が運行できるような電線のあり方につきましては、道路上の架空線が無くなる無電柱化が有効であると存じております。</p> <p>なお、市における無電柱化は中心市街地や歴史的街並みを形成する地区で取り組んでおり、令和元年度は幹線道路整備に合わせ、都市計画道路 明治橋大沢川原線、都市計画道路 盛岡駅南大通線及び市道岩手公園開運橋線で実施しており、今後は大慈寺地区景観地区内の市道南大通二丁目南大橋線でも進めていく予定としております。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路建設課)</p> <p>山車につきましては、市内一円を巡行するため、一般道における構造物等の高さ制限を受けるところもあり、大型の山車運行については、これら構造物の撤去等の費用が必要となりますことから、観光政策としての考え方を踏まえて研究してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">(建設部道路管理課)</p> <p>住宅使用料等の収納率の向上を図り、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平性を確保するため、滞納者に対して文書催告や、夜間・休日を含めた電話催告及び訪問催告を実施して納付指導を行っているほか、必要に応じて民事調停等の法的措置を講じております。また、市営住宅等退去者滞納家賃等収納業務委託や滞納整理専門員の配置により納付勧奨等を強化しているとともに、平成27年度にはコンビニエンスストア収納の導入により納付機会の拡大を図っているところであり、今後とも家賃の適正な納入の促進に努めてまいります。</p> <p>市営住宅の保証人制度につきましては、市営住宅の安定した運営と入居者の負担の公平</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市道津志田白沢線の早期の全線開通をされたい。</li> </ul>	<p>性を確保するためにも保証人は必要であると考えておりますが、保証人の選任について、より確保しやすい方策を検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部建築住宅課）</p> <p>都市計画道路津志田白沢線につきましては、国道4号と連絡するネットワークを形成するよう、接続する東西方向の市道高橋線と一体となった整備に取り組んでおります。</p> <p>事業区間は、都南文化会館南側から南側約300m区間で、平成22年度から事業に着手しており、平成30年度は事業区間南側の用地交渉を進め、令和元年度は市道高橋線の南側150m区間の工事を実施しており、北側150m区間についても用地の確保に努めております。</p> <p>今後におきましては、令和2年度に北側150m区間の工事を予定しており、事業の早期完成に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>また、本路線は盛岡市と矢巾町を結ぶ主要な道路の一つと存じておりますことから、「盛岡広域連携都市圏ビジョン」においてネットワークの強化を図る路線に位置づけており、南側の未着手の区間の整備については、都市計画道路整備プログラムに基づき、令和2年度に事業に着手する予定としております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地における使い易い駐輪場の増設を図られたい。</li> </ul>	<p>市では、平成20年4月1日施行の「盛岡市自転車の安全利用及び利用促進並びに自転車等の放置防止に関する条例」を受け、平成20年度に大通地区にパーキングチケットエリア等を活用した駐輪場を3箇所設置したところです。</p> <p>今後も、商店街や事業所の協力をいただきながら、放置禁止区域の拡大も視野に入れ、駐輪場の整備に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>田沢湖線前潟駅の着工をされたい。</li> </ul>	<p>J R 田沢湖線前潟駅につきましては、平成24年度にJ R 東日本に基本計画調査を委託し、新駅想定乗車人員は見込まれるとの調査結果を得ております。また、平成28年度に行った事業効果の検証や平成29年度にJ R 東日本に委託した基本調査設計を踏まえた費用便益分析し、平成30年度に総合交通施策懇話会において事業実施は妥当である判断がなされております。</p> <p>地元には、平成30年度より「土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会」で</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• IGR 下田駅の早期着工を図りたい。</li>   <li>• 岩手飯岡駅の橋上化とあわせ駅舎や駅周辺の活性化を図りたい。</li>   <li>• 仮称南仙北駅の総合計画への格上げを図られ</li> </ul>	<p>説明をしてきており、令和元年7月には地元説明会を行なったところです。今後は、JRへの新駅設置の請願を行い、令和2年度からの詳細設計や用地買収、整備工事に向け、JRとも協議し、事業の促進に努め、早期の事業完了に向けて取り組んでまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>IGR下田駅につきましては、見込まれる利用者数が少ないことと事業費の確保が課題となっており、今後の事業のあり方について、住民の意見を伺うため、平成27年4月、5月及び11月の3度にわたり地元懇談会を開催したところです。今後も地元の意見を踏まえ、新市建設計画に位置付けの他事業の精算を加えながら、新駅設置の可能性について検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>岩手飯岡駅の駅舎新築につきましては、東西往来の円滑化や駅利用の利便性向上を図るため、駅舎と一体となった自由通路として整備を進めており、令和2年度は、JRと協定を結び工事の着手を予定しております。なお、橋上化に伴う駅舎につきましては、地元の要望をお聞きしながら設計を完了しており、現在の計画を変更することは難しいですが、駅西側の通路に設置するピロティを活用した活性化に向けて、地元と協議をしてまいりたいと存じます。また、その他の駅の敷地を使った活性化につきましては、要望があったことをJR東日本（株）にお伝えしてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>駅周辺の活性化については、商工会議所や地元商店会から意見をお聴きするなどし、そのニーズを確認しつつ、連携しながら、活性化が図られるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（商工観光部経済企画課）</p> <p>岩手飯岡駅と仙北町駅間の新駅の設置につきましては、公共交通機関へ転換しやすい環境づくりのための取り組みとして、市総合交通計画にその設置可能性の検討を位置付けてお</p>

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>たい。</p> <p style="text-align: center;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山田線と花輪線を活性化されたい。山田線は宮古市と活性化協議会をつくり活性化や国の補助金の導入、観光活用についても盛岡市が主導で実施されたい。</li> </ul>	<p>りますが、もりおか交通戦略では長期的な課題としており、今後、周辺の市街化の状況等をふまえながら検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>山田線の利活用につきましては、「盛岡市地域公共交通網形成計画」において、山田線の利活用を取り組む事業に位置付けており、公共交通機関として信頼度の高い鉄道網を確保し、沿線地域の交通の利便性を高めるため、山田線の利用促進を検討し、利活用にかかるパンフレットなどの作成・配布に取り組むこととしております。</p> <p>花輪線につきましては、沿線市町村で組織する利用促進協議会において、さまざまな機会をとらえ、情報発信することにより花輪線への関心を高め、沿線市町村の相互交流と利用客の増加を目指すこととしております。引き続き、花輪線の魅力発信や沿線地域のPRなど活性化に向け取り組んでまいります。</p> <p>また、山田線活性化協議会の設置につきましては、県、宮古市の動向を踏まえながら、必要に応じて検討してまいるとともに、宮古までの増発や観光活用につきましては、観光交流課と連携し、機会を捉えながらJR東日本に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東北本線の活性化（IGRと相互乗り入れ）や701系電車に転換クロスシートの設置、増結を要請されたい。</li> </ul>	<p>相互乗り入れにつきましては、事業者間の費用負担の課題があると伺っております。</p> <p>また、転換クロスシートにつきましては、JR東日本からは、701系電車は、朝夕の通勤通学の混雑時にできるだけ多くの方に乗車いただき、スムーズな乗降ができるようにロングシートとしており、保有車両を最大限活用している現状では、混雑時と日中を区別して運用することが困難なため、転換クロスシート化、増結は難しいと伺っております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ IGRの車両更新には転換クロスシートの導入を促されたい。</li> </ul>	<p>転換クロスシートの導入につきましては、IGRからは、今後の車両更新時に検討を行ってまい旨伺っております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仙北町駅橋上化の早期実現をされたい。</li> </ul>	<p>仙北町駅の橋上化につきましては、整備に多額の費用やJR東日本との費用負担等の課</p>

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: center;">P 7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 狭隘道路の改良の促進を市内全域で図られたい。</li>   <li>・ 災害公営住宅建設予定地周辺での渋滞緩和に努められたい。また、ふれあい橋拡幅の早期実現をされたい。</li>   <li>・ 高齢者の買い物支援等のためのコミュニティバスを導入されたい。また、原則としてすべてのバス停にベンチを設置するために隣接民有地と固定資産税の減免や提供者へ表彰する制度の創設等ベンチ用地の確保策を促進されたい。</li> </ul>	<p>題もあり、引き続きJR東日本と相談してまいりたいと存じます。また、地元との勉強会を継続しながら、情報の共有等に努めてまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p> <p>幅員が4m未満の市道につきましては、地元が主体となって進める、「狭あい市道整備促進事業制度」があります。拡幅用地の寄附が前提となりますが、その拡幅用地における測量及び物件移設等の経費に対し、補助金を交付する制度です。この制度についてはホームページ等でPRしておりますが、ご不明な点については道路管理課までご相談いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p> <p>災害公営住宅建設予定地周辺での渋滞緩和につきましては、住宅が密集しており、沿道の用地買収や補償費用が大きく、拡幅整備は難しいことから、鉄道やバスの利用促進に努めてまいりたいと存じます。</p> <p>なお、市道中屋敷町青山一丁目2号線の災害公営住宅付近につきましては、歩行環境の向上やバスを待つ歩行者の空間確保をする工事を予定しており、令和元年度は道路工事の設計を実施しております。</p> <p>また、「ふれあい橋」の拡幅につきましては、通過する交通量が多く、幅員が狭いことから、車両が円滑に通行することが難しい状況であり、拡幅整備は必要なものと存じておりますが、橋の架け替え等には多額の事業費確保が課題となってまいります。</p> <p>今後におきましては、隣接する都市計画道路 盛岡駅青山線と「ふれあい橋」は密接に関係することから、当該路線と併せて新たな都市計画道路整備プログラムの位置付けの中で検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>高齢者の移動支援等につきましては、まちなか・おでかけパス事業に取り組んでいるところであり、コミュニティバス等の交通手段についても、令和元年策定の「盛岡市地域公共交通網形成計画」に基づき、検討を行ってまいりたいと存じます。</p> <p>また、バス停へのベンチの設置につきましては、設置空間及び財源の確保の課題もあり、すべては困難ではありますが、利用者の多いバス停につきましては、バス停上屋と合せて</p>

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p>バス停の間隔が空いている区間には中間のバス停を増設していただきたい。</p>	<p>の設置や、地元の協力も頂きながら、今後も取組んでまいりたいと存じます。バス停用地として民有地を提供いただいた場合、これまでも固定資産税の減免等を行っておりますが、表彰制度につきましては、市としての表彰制度はないもののバス事業者が感謝状の贈呈を行った例がありますことから、今後バス事業者に相談してまいりたいと存じます。</p> <p>また、バス停間隔が長い区間へのバス停増設につきましては、バス事業者と相談してまいります。また、現地の状況により安全面から公安委員会や道路管理者等から同意いただけない場合もございますので御理解願います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p>・ 公共交通空白地域を作らないようデマンドタクシーや地域コミュニティーバスの運営について市として具体的な施策を講じられたい。</p>	<p>公共交通空白地を作らないことについては、令和元年策定の「盛岡市地域公共交通網形成計画」において、生活に必要な移動を支える公共交通網の形成を目指しており、その中でスクールバスや患者輸送バスの運行形態を見直し活用することに加え、デマンド交通など交通空白を解消する移動手段の確保・導入を検討してまいりたいと存じます。</p> <p>また、導入にあたりましては、地域の実情に応じた移動手段や運営方法などについて、持続可能なものとなるよう地域の皆様と意見交換を行いながら、市としての支援のありからを検討し、取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部交通政策課）</p>
<p>・ 国道46号線の盛岡から秋田県境までの高規格化をされたい。</p>	<p>国道46号線は、地域高規格道路「盛岡秋田道路」の一部として位置づけられており、岩手・秋田両県の広域地域間交流促進のため、これまでも国に対し早期整備を要望しているところです。今後も沿線自治体で構成する国道整備促進期成同盟会を通じて、機会を捉えながら地域高規格道路化を国に要望してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p>
<p>・ 松川・南川の安全対策を講じるよう県に働き掛けられたい</p>	<p>松川につきましては、県において平成27年9月に策定された盛岡北圏域の河川整備計画に基づき平成27年度に事業着手し、平成30年度より工事に着手して整備を進めているところです。また、南川につきましては、国道4号から下流部の県施工箇所について、平成28年度で概成しているところですが、北上川の合流点付近が未整備となっております。</p> <p>市といたしましては、松川・南川の事業促進について県へ要望しているところであり、今後も引き続き、統一要望などの機会を捉えながら要望するとともに、河川の安全を図る</p>

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 盛岡バスセンターの賑わい拠点としての再生を進めて頂きたい。</li> </ul>	<p>ための適切な維持管理についても併せて要望してまいりたいと存じます。 (建設部河川課)</p> <p>(仮称)新盛岡バスセンター整備事業につきましては、バスターミナル機能と賑わい機能を持つ安全・安心な施設として整備し、バスターミナル機能を維持するとともに、中心市街地活性化及び河南地区の賑わい創出を図ることを目的としています。</p> <p>整備事業の推進にあたっては、市民の皆様をはじめ、バス事業者や関係機関のご意見も踏まえながら策定した「(仮称)新盛岡バスセンター整備基本計画(以下、整備基本計画)」に基づき進めることとしております。</p> <p>今後も「整備基本計画」に基づき、地元商店街等と連携しながら、エリア価値を向上させ、河南地区への来訪者を増加させることにより、賑わいの創出を図ってまいります。 (商工観光部経済企画課，建設部交通政策課，都市整備部市街地整備課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ バス路線で街路樹等が走行中のバスに当たっている現状がある。剪定や管理の徹底を図らりたい。</li> </ul>	<p>バス路線の街路樹につきましては、道路パトロールにより通行に支障がある枝の把握に努め、適切に剪定等を実施してまいります。 (建設部道路管理課，都市整備部公園公園みどり課)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内丸官庁街の再開発計画を策定して、県をはじめ各施設管理者との話し合いを始めていただきたい。</li> </ul>	<p>[市長公室，都市整備部にて回答]</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害に対する対策を強化されたい。国土交通省や県と連携した洪水対策の強化や堤防の整備の促進、また中心地以外の内水想定区域を早期に示されたい。</li> </ul>	<p>急傾斜地崩壊等を含む土砂災害対策につきましては、県が実施する土砂災害防止工事等によるハード対策の推進及び拡大を要望するとともに、県と協力しながら土砂災害警戒区域等の指定に向けた取り組みを行い、ソフト対策として土砂災害に関する情報の伝達方法、避難地に関する事項等の周知を図るため、指定箇所について土砂災害ハザードマップを作成・配布し、引き続き、市民の安心・安全な暮らしを確保するよう努めてまいります。</p> <p>洪水対策の強化や堤防の整備につきましては、国におきましては「北上川水系河川整備計画」に基づく北上川，中津川，雫石川の河川整備事業や，四十四田ダムと御所ダムの洪水調節機能向上を図る北上川上流ダム再生事業に取り組んでおり，また，河川・ダムの適正</p>

盛岡市議会会派「市政クラブ」令和2年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環状交差点（ラウンドアバウンド）の導入を図られたい。</li>   <li>・ 県営野球場南側の交差点、高松小学校側から北山トンネルへ行く道路に右折レーンを設置されたい。</li> </ul>	<p>な維持管理を行っているところです。</p> <p>岩手県におきましても、盛岡西圏域、盛岡東圏域及び盛岡北圏域の河川整備計画に基づき木賊川や南川、北上川（県管理区間）及び松川などの河川改修の事業を実施しているところでもあります。</p> <p>市といたしましても、国や県と連携し、市民の安全・安心な暮らしを確保するため、洪水対策の強化や堤防整備の促進が図られるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部河川課）</p> <p>中心地以外の内水想定区域の設定については、平成30年度において、都市機能の集積が高く災害リスクが高いこと、また、下水道が整備済で、雨水の排除を全て下水道施設が担う浸水解析が可能な地域として、盛岡駅周辺及び合流式下水道区域を対象とした内水ハザードマップを作成し公表したところでもあります。その他の地域につきましては、令和元年度は関係機関等から浸水実績の情報収集を行い、作成対象区域の優先順位やスケジュールなど、検討を進めているところであり、これまでの浸水実績の状況などから、雫石川以南地区の事業計画区域について優先的に作成する方向で、引き続き検討を進めてまいることとしております。</p> <p style="text-align: right;">（上下水道部下水道整備課）</p> <p>環状交差点（ラウンドアバウンド）につきましては、交差点に流入する車両の速度が低下することや車両同士の交差箇所が減少し、車両交通の安全性の向上が期待できます。</p> <p>課題としては、既存市街地において交差点を改良した場合、中央の車両が周回する外径が大きいことから、沿道地権者の理解を得ることが難しく、整備範囲の大きさから用地買収や補償費用が大きくなることが考えられます。</p> <p>今後につきましては、郊外部等の沿道への影響が少ない箇所について、導入の可能性を検討してまいりたいと存じます。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>市道庚申窪更の沢線につきましては、国道455号交差点から西側120mを整備区間として、平成23年度に事業着手し整備計画等について地権者説明を行っておりましたが、地権者の理解が得られず休止しているところでもあります。</p> <p>今後につきましては、状況の変化を捉えながら再交渉に臨んでまいりたいと存じます。</p>



## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名： 市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
<p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯岡十文字からシティーマラソン折り返し地点の旧盛岡和賀線と現在の盛岡和賀線の交差点について市道側から和賀線に右折レーンと右折信号機を設置されたい。</li>   <li>・ 市道（中太田 31 号線改め）上太田 68 号線の舗装改築をされたい。</li>   <li>・ 私道の舗装・同 2 次改築や側溝の清掃に対し支援策やボランティアとの調整を図っていただきたい。</li> </ul> <p>【都市整備部関係】</p> <p style="text-align: right;">P 8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩山公園整備について総合的な岩山地区活性化計画を推進して頂きたい。道路整備や旧漆芸美術館の活用を促進されたい。また盛岡動物公園については計画の進行状況等を出来るだけ細目に市民に提供していただきたい。</li> </ul>	<p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>〔右折信号機は、くらしの安全課にて回答〕</p> <p>主要地方道 盛岡和賀線と交差する市道下太田下飯岡 3 号線に設置されている右折レーンの延長につきましては、近接する市道北街道線との交差点に影響することから難しいと存じております。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路建設課）</p> <p>通行に危険な箇所が生じた場合は、速やかに補修を行ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p> <p>私道の所有者や利用者が舗装等の工事を行う場合、要件を満たせば経費の一部を補助する「私道等整備促進事業制度」があります。活用等については、道路管理課までご相談いただきたいと思います。</p> <p style="text-align: right;">（建設部道路管理課）</p> <p>岩山公園につきましては、平成 24 年度に作成した「岩山公園整備基本計画」に基づき整備を進めておりますが、さらに岩山エリア全体の活性化を目指し「岩山エリア公民連携事業基本計画」の策定中であります。</p> <p>アクセス道路となる市道岩山 2 号線につきましては、平成 22 年度から道路改良事業に着手しており、歩道が未整備である新庄浄水場付近から旧漆芸美術館方向の約 750m 区間を事業区間として、平成 29 年度までに新庄浄水場付近から市道つつじが丘団地線までの約 180m が完成しており、残り約 570m 区間につきましては、早期に事業効果を発現できるよう予算の確保に努め、令和 4 年度の完成を目指して事業を進めてまいります。</p> <p>旧漆芸美術館の活用につきましても、岩山エリアの活性化に向けた取組の一環として検討してまいります。</p> <p>また、盛岡市動物公園につきましては、公民連携事業により民間ノウハウを活用するこ</p>

## 盛岡市議会会派「市政クラブ」令和２年度予算要望への回答

団体名：市政クラブ

要 望 事 項	要 望 に 対 す る 回 答
	<p>とで財政負担軽減を図りつつ、市民が誇りに思える動物公園を創造することを目的とした再生事業計画（案）の策定に当たって、有識者による検討会を一般公開とし広く意見聴取したほか、更に、市民の皆様を対象とした説明会を開催するなどして意見の聴取や周知に努めてまいります。</p> <p style="text-align: right;">（総務部管財課，都市整備部公園みどり課，建設部道路建設課）</p>